

【概要】

血圧や体液pH、浸透圧などの生体内環境を正常な状態に維持する機能、すなわち生体の恒常性（ホメオスタシス）を理解するためには、様々な臓器の生理学的知識を統合することが必須である。薬物療法学特論では、恒常性維持に重要な循環器系、血液系、呼吸器系、腎・泌尿器系、内分泌系の病態生理・薬物療法について統合的に学修し、これらの領域における論理的思考力を高め、それに基づく応用力を身に着ける。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による